

## 学校法人西南学院の経理について

学校法人 西南学院

2004（平成16）年度決算の概略を次のとおりご報告いたします。

### （1）資金収支計算書

資金収支計算書は、学校法人の教育研究の諸活動に係る全ての収入、支出の内容及び支払資金のてん末を明らかにする計算書です。この計算書は、当年度の収入と支出の他に、前年度及び次年度の収入（前受金、未収入金）や支出（前払金、未払金）を含めたあらゆる収支が網羅されています。なお、決算額合計は250億8800万円となっています。これが、2004(平成16)年度収支の全ての金額です。

### （2）消費収支計算書

消費収支計算書は、当年度の消費収入及び消費支出の内容並びに均衡の状態を明らかにするための計算書です。このことにより財政状況の健全性と安定性を判断することができます。前述の「資金収支計算書」上で、収支のつじつまが合っているだけでは、財政の状況を把握することはできません。これを補完するものが「消費収支計算書」です。この消費収支計算書は、企業会計における損益計算書と類似しており、学校法人の財政状況を分析するには最も適したものといえます。

2004(平成16)年度の消費収入は107億7500万円となっています。この額は、帰属収入（負債としない収入）112億1400万円から施設拡充等のために自己資金で支出した額（基本金組入額）4億3900万円を差し引いたものです。一方、消費支出は97億4000万円となっています。消費収入と消費支出の差は消費収入超過額10億3500万円となり、前年度の繰越消費収入超過額33億1200万円を加えて43億4700万円を翌年度に繰り越すこととなります。

### （3）貸借対照表

貸借対照表は、年度末における本学院の財政状態を示しています。資産として土地・建物・その他の固定資産、現金預金等の流動資産、また負債（借入金等）、基本金（自己資金により資産を調達した額）及び消費収支差額が表示されています。

2004(平成16)年度末の本学院の総資産は570億8300万円（前年度比2%増）で、負債額44億6900万円を差し引いた正味財産は526億1400万円（前年度比2.9%増）となります。借入金残高は4億3110万円（前年度比40.4%減）で私学事業団1億1110万円、銀行3億2000万円です。

## (1) 資金収支計算書

資金収支計算書について、その内容をご報告いたします。

### 資金収支総括表

(収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	8,923	8,908	15
手数料収入	486	571	△ 85
寄付金収入	16	60	△ 44
補助金収入	1,025	1,058	△ 33
資産運用収入	126	132	△ 6
資産売却収入	593	595	△ 2
事業収入	190	187	3
雑収入	131	252	△ 121
借入金等収入	0	320	△ 320
前受金収入	1,634	1,663	△ 29
その他の収入	4,431	4,467	△ 36
資金収入調整勘定	△ 1,909	△ 2,017	108
当年度資金収入合計	15,646	16,197	△ 551
前年度繰越支払資金	8,891	8,891	0
収入の部合計	24,537	25,088	△ 551

大学・大学院生8,252名、中高生1,983名、幼稚園・保育園児280名

受験者数  
大学16,438名、  
高校1,534名、  
中学校1,294名

大学募金事業により予定額を上回りました。

選択定年退職者増加等により、それに伴う退職金財団からの交付金が予定を上回りました。

支払利息軽減のために借入金の借り換えを行ないました。

選択定年退職者等の増加により退職金が増加し、見込みを上回りました。

(支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	6,522	6,663	△ 141
教育研究経費支出	2,042	1,794	248
管理経費支出	677	548	129
借入金等利息支出	22	22	0
借入金等返済支出	187	613	△ 426
施設関係支出	2,686	2,005	681
設備関係支出	368	316	52
資産運用支出	2,649	3,148	△ 499
その他の支出	2,495	2,568	△ 73
予備費	106	0	106
資金支出調整勘定	△ 97	△ 100	3
当年度資金支出合計	17,659	17,578	81
次年度繰越支払資金	6,878	7,510	△ 632
支出の部合計	24,537	25,088	△ 551

省エネ推進による水熱光費の節減や旅費規程の改正による旅費交通費の減少により経費を削減できました。

借入金等収入と同様に借り換えのために予算を上回りました。なお、借入残高は減少しました。

翌年度以降へ計画繰り延べのために予算残が出ました。

有価証券購入及び退職給与引当資産繰入支出が予定を上回りました。

当年度資金収支差額	△ 2,013	△ 1,381	△ 632
-----------	---------	---------	-------

## (2) 消費収支計算書

消費収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。  
なお、説明は資金収支計算書と異なる部分について行います。

### 消費収支総括表

(収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	8,923	8,908	15
手数料	486	571	△ 85
寄付金	16	82	△ 66
補助金	1,025	1,058	△ 33
資産運用収入	126	132	△ 6
資産売却差額	22	22	0
事業収入	190	187	3
雑収入	131	253	△ 122
帰属収入合計	10,919	11,213	△ 294
基本金組入額合計	△ 608	△ 439	△ 169
消費収支の部合計	10,312	10,775	△ 463

中学校、高等学校に対する現物寄付がありました。

取得予定資産が繰り延べになったことにより予算残が出ました。

(消費支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	6,326	6,536	△ 210
教育研究経費	2,721	2,478	243
(内減価償却費)	678	677	1
管理経費	770	640	130
(内減価償却費)	92	91	1
借入金等利息	22	22	0
資産処分差額	36	41	△ 5
徴収不能引当金繰入額	0	23	△ 23
予備費	214	—	214
消費支出の部合計	10,088	9,740	348

退職者増加により退職給与引当金繰入額が大幅な修正になりました。

今期、長期貸付金(大学貸与奨学金)未償還残高に対して適正な引当金を設定しました。

帰属収支差額	831	1,473	
帰属収支差額比率	7.6%	13.1%	
当年度消費収入超過額	224	1,035	
当年度消費支出超過額	0	0	
前年度繰越消費収入超過額	3,312	3,312	
翌年度繰越消費収入超過額	3,536	4,347	

※帰属収入(112億円)の構成比率

学納金(大学)	68.4%
学納金(中高)	10.5%
学納金(幼)	0.6%
手数料	5.1%
寄付金	0.7%
補助金	9.4%
資産運用収入	1.2%
資産売却収入	0.2%
事業収入	1.7%
雑収入	2.3%

※消費支出(97億円)の構成比率

教員人件費	42.7%
職員人件費	21.3%
退職給与引当金繰入額	2.9%
教育研究経費	25.4%
管理経費	6.6%
借入金利息	0.2%
資産処分差額	0.4%
徴収不能引当金繰入額	0.2%

### (3) 貸借対照表

貸借対照表について、前年度からの増減の主な理由などをご報告いたします。

#### 貸借対照表

資産の部		(単位:百万円)			
科目	本年度末	前年度末	増減		
資 産	固定資産	49,329	46,779	2,550	<p>新大学院棟、厚生棟(西南クロスプラザ)の建設等による増加です。</p> <p>新大学院棟関係備品の取得等による増加です。</p> <p>新学科等設置により、本部から大学教育研究機器備品へ移管のため減少となりました。</p> <p>教育研究充実のために毎年度1億円超の図書購入を続けています。</p> <p>大学新グラウンド取得のための費用の一部です。</p> <p>資産運用のための有価証券購入を増額しました。</p> <p>新大学院棟建設、ドージャー記念館改修等により引当資産が減少しました。</p> <p>有価証券購入のために減少しました。</p> <p>退職財団の交付金や補助金等の未収入金であり、確実に入金されるものばかりです。</p>
	有形固定資産	33,955	32,391	1,564	
	土地	10,075	10,075	0	
	建物	16,001	14,808	1,193	
	構築物	1,254	1,236	18	
	教育研究用機器備品	1,775	1,713	62	
	その他の機器備品	202	308	△ 106	
	図書	4,100	3,964	136	
	建設仮勘定	548	286	262	
	その他の固定資産	15,374	14,387	987	
	電話加入権	9	9	0	
	有価証券	6,278	4,320	1,958	
	出資金	40	40	0	
	長期貸付金	825	837	△ 12	
	退職給与引当資産	1,699	1,826	△ 127	
	施設拡充引当資産	5,455	6,287	△ 832	
	第3号基本金引当資産	1,067	1,067	0	
敷金・保証金	0	2	△ 2		
流動資産	7,754	9,172	△ 1,418		
現金預金	7,510	8,891	△ 1,381		
未収入金	226	254	△ 28		
短期貸付金	3	3	0		
前払金	16	25	△ 9		
合計	57,083	55,952	1,131		

#### 負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科目	本年度末	前年度末	増減		
負 債	固定負債	1,945	2,362	△ 417	<p>借入金の定期償還、借換時の任意償還を行うことで減少しました。</p> <p>定年退職者が多かったことと退職財団の掛率が上がったために引当金額が減少しました。</p> <p>退職財団や私学事業団の掛金を1、2ヶ月遅れで納入しているため、年度末分が毎年度未払となります。</p> <p>次年度新入生の納入金(入学金、授業料等)の一部を毎年度事前に受け取っています。新入生数により毎年増減があります。</p>
	長期借入金	246	536	△ 290	
	退職給与引当金	1,699	1,826	△ 127	
	流動負債	2,524	2,450	74	
	短期借入金	186	188	△ 2	
	未払金	102	70	32	
	前受金	1,663	1,791	△ 128	
預り金	574	402	172		
合計	4,469	4,812	△ 343		
基本金	48,267	47,828	439		
消費収支差額	4,347	3,312	1,035		
合計	57,083	55,952	1,131		

(参考)

正味資産	52,614	51,140	1,474
------	--------	--------	-------

※正味資産=資産-負債(=基本金+消費収支差額)

減価償却額の累計額	7,020	6,286	734
基本金未組入額	431	724	△ 293

\*上表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計などの数値が一致しない場合があります。